

平成26年度環境・食育校種間連携パートナーズクール事業

## 地域の魅力再発見 ～自然・人・地域をつなぐ“食”～

京丹波町立竹野小学校の5・6年生が、京都府立須知高等学校食品科学科（穀物加工専攻）と環境・食育校種間連携パートナーズクール事業の取組を行いました。

1回目の取組となった7月16日（水）は、須知高校の食品加工施設見学と農場を使って小豆の種まきをしました。

施設を見学するために、全員が帽子と専用の長靴を着用し、手指のアルコール消毒をしてエアシャワーをくぐります。厳重な衛生管理に小学生たちも驚きながら、高校生から農産加工実習室（主に穀物類の加工）、乳加工実習室（アイスクリーム、ヨーグルト製造）、肉加工実習室（サラミ、ソーセージ製造）を案内してもらい体を乗り出し見学をしていました。

続いて、真夏のような日差しが照りつける中、高校生とペアを組んで「小豆の種まき」

作業を行いました。クワで作業をすることが初めてという児童も、普段から家庭で農作業の手伝いをしている児童も、高校生の丁寧な指導のもと、うまく種をまくことができました。

その後、高校の看板商品である「あずきアイス」を一緒に試食して感想交流を行い、最後には小学生から高校生に合唱をプレゼントして高校を後にしました。

次回は11月下旬に京都大学大学院の学生も参加して小豆の収穫を行う予定です。

### 《感想から》

小学生：種まきはとても疲れたけれど楽しかったです。高校生の皆さんが、このような作業をやっているのがすごいと思いました。

高校生：収穫までの間は私たちが一生懸命育てるので、楽しみにしててください。

